



2024年11月18日

各位

会社名 アサヒグループホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 兼 Group CEO 勝木 敦志
(コード番号 2502 東証プライム)
問合せ先 Head of Corporate Communications 根本 ささ奈
(TEL. 03-5608-5126)

Regional Headquarters 体制の変更に関するお知らせ

当社は『中長期経営方針』に基づくグループガバナンス強化と企業価値の最大化を図るため、2025年4月1日付で各地域統括会社である Regional Headquarters（以下、RHQ）体制を変更することを決定しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 本件の目的と概要

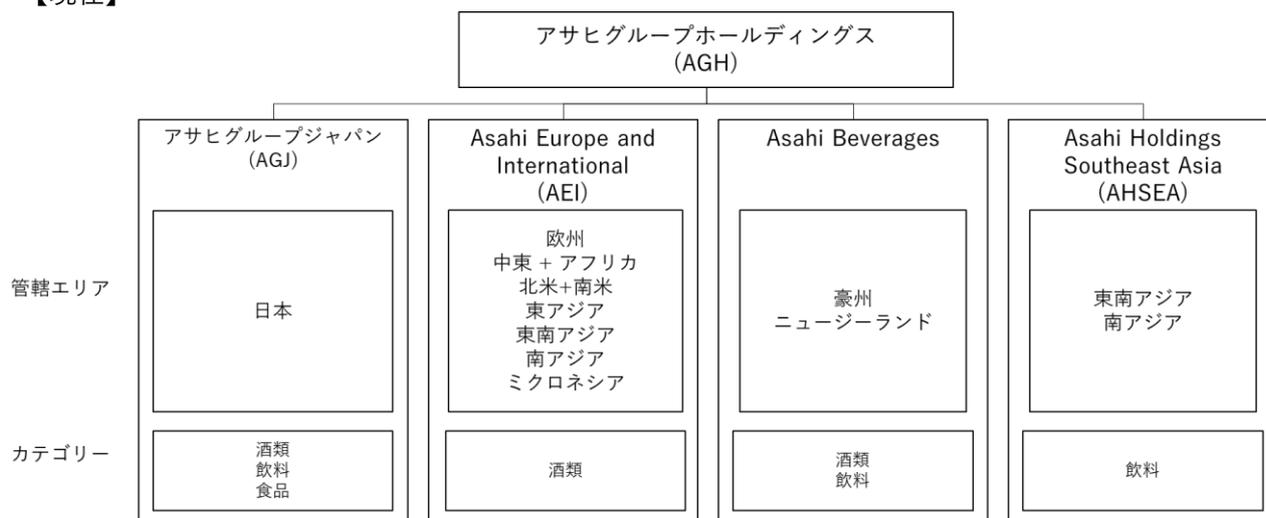
当社はこれまでに、日本・欧州・オセアニア・東南アジアでの4RHQ体制を基盤としてきましたが、2025年4月1日からオセアニアと東南アジアのRHQを統合し3RHQ体制へ変更します。具体的には、東南アジアの飲料事業を担う Asahi Holdings Southeast Asia および欧州の Asahi Europe and International（以下、AEI）が担う東南アジアと南アジアでの酒類事業を、オセアニアの Asahi Beverages の傘下へ移管します。また、AEIが担う東アジアの酒類事業を日本の事業を担うアサヒグループジャパン（以下、AGJ）へ移管します。

今般の体制変更により、オセアニアと東南アジア・南アジアでの酒類・飲料事業の統合を通じてマルチバレッジ戦略を強化し、東アジアでの酒類事業は、AGJの強固なブランド、開発力、サプライチェーンなどを生かすことで競争優位性の向上を図ります。

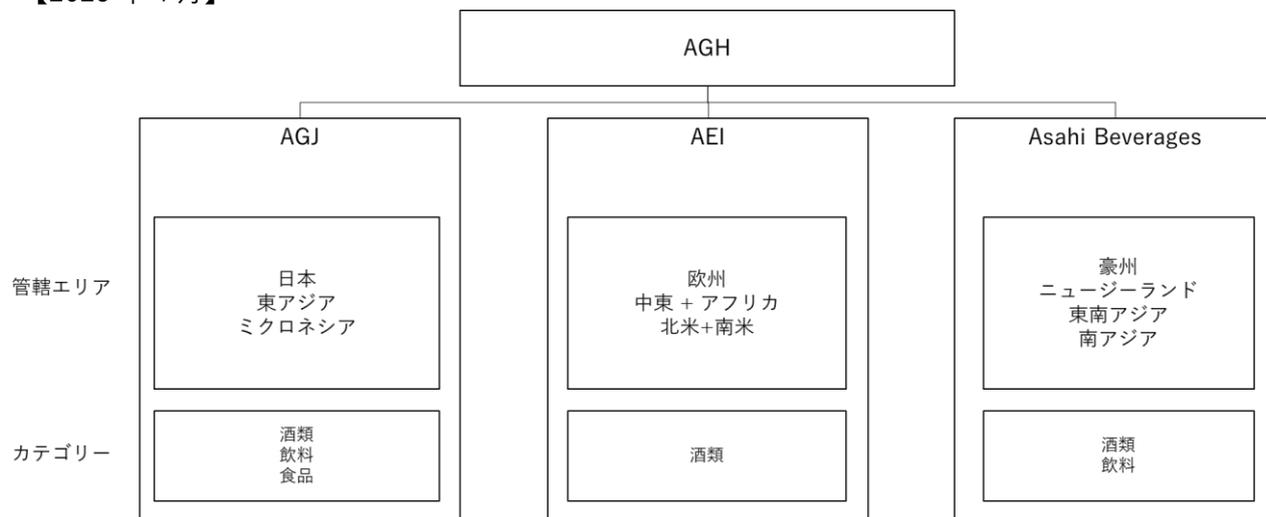
当社は2024年4月に、従来設置していたCxOの機能を再定義しGroup CxOを設置するとともに、各RHQのChief Executive Officerがグループ経営へ参画する新たな執行体制へ刷新しました。引き続きグループガバナンスの強化と各事業価値の総和を超えた一層の企業価値の最大化を目指します。

2. グループ体制（予定）

【現在】



【2025年4月】



※中央アジアでは、AEI が引き続き酒類事業を担い、「Asahi Beverages」が飲料事業を担います。

3. 業績への影響

本件による2024年12月期業績予想に与える影響はありません。2025年12月期業績予想は、2025年2月に予定している2024年12月期決算発表時にお知らせします。なお、新体制後の事業セグメント別の業績予想につきましては、決定次第改めてお知らせします。

■代表取締役社長 兼 Group CEO 勝木 敦志コメント

アサヒグループは、各事業の総和を超えたグループ全体での成長と企業価値の最大化を目指す取り組みを加速させるため、新たな組織改革に踏み出します。今回の決断は、本年4月に行ったアサヒグループホールディングスの執行体制の刷新に続くものでグループ全体に大きな変革をもたらします。これまで築き上げてきたマルチビバレッジ戦略、プレミアム戦略、そしてグローバルブランドの成長戦略による確かな実績を更に拡大させる原動力となります。より迅速かつ効率的なガバナンス体制への進化と各地域における競争優位性の向上によって、グローバル市場でのプレゼンスを飛躍させます。

以上